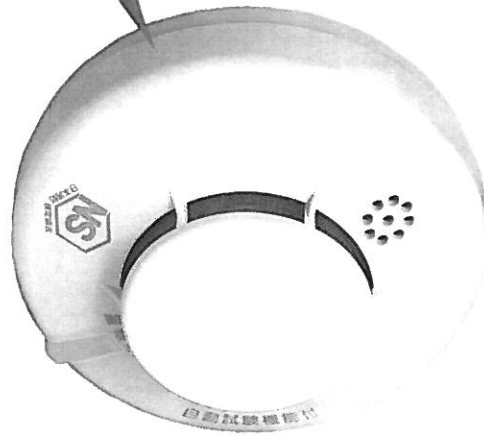


火災警報器を買う前に 知っておきたいポイント！

『平成23年5月末までに既存住宅への 火災警報器の設置が義務化されました』

ピー、ヒュー、ヒュー
火事です！
火事です！



こんにちは。
ガス屋の小郡製氷です。

平成二十三年五月末までに
既存住宅への火災警報器の
設置が義務化されました。

そもそも何故設置が義務化
されたのでしょうか？

未曾有の不況を見越しての
量販店を儲けさせるための
政策？

いいえ、それには安心・安
全のための理由があるので
す。

●建物火災死者数のうち、
住宅火災によるものが約9
割

●住宅火災による死者数は
増加傾向

●死亡原因の約64%が、逃
げ遅れによるもの

●犠牲者の約57%が、65歳
以上の高齢者

●犠牲者発生の時間帯は、
就寝中の22時～6時が多い

●アメリカでは火災警報器
の設置義務化により、死者
数が半分以上に減少した実
績がある

このようなデータからも、
就寝中でも火災を早期に発
見して、逃げ遅れを防ぐこ
とで、救える命がたくさん
あることが分かります。

しかし日本の既存住宅の火
災警報器設置率は1割以下
であるのが現状です。

また日本家屋伝統の木造住
宅が多いことにより、延焼
の危険性が高い風土でもあ
ります。

以上のような理由・根拠は

あまり語られてくることな
く「法律で設置が義務化さ
れたから付けてください」
ということばかりが語られ
ているような気がしていま
す…。

車のシートベルトと同じで
「捕まるから着用する」と
いった感覚ではなく「自分
と自分の大切な人の命を守
るため」といった感覚で、
火災警報器の設置を前向き
に検討してみてはいかがで
しょうか？

